

日本組織培養学会



会員通信

第144号

令和3年2月8日

発行者

\* 森 一憲 (昭和大学)

\* 責任者連絡先

〒142-8555

品川区旗の台1-5-8

昭和大学 薬学部 基礎薬学講座

腫瘍細胞生物学部門

TEL: 03-3784-8209

E-mail: mori@pharm.showa-u.ac.jp

## 目次

1. 年頭のご挨拶 .....	2
2. 日本組織培養学会 次期理事選挙結果報告 .....	3
3. 日本組織培養学会 第93回大会 (2021年) のお知らせ .....	4
4. 第93回大会 奨励賞申請 (第2期)と発表について .....	8
5. 第93回大会 English Presentation Award (第2期) 応募案内 .....	10
6. 委員会報告 .....	11

編集委員会

テクニカルアーカイブ委員会

## 1. 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

令和3年の年頭にあたり、本学会会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は会員の皆様もご承知の通り、新年早々第1例目新型コロナウイルスの感染者が国内で確認され、以後第一波、第二波と感染拡大の波が繰り返され、関係諸機関の努力の甲斐なく現在第三波を迎える状態に至っております。本学会会員の中には、この間診療、看護、検査等で昼夜を問わず、感染拡大防止のためにご尽力いただいた医療関係者の方も少なからずおられると思います。改めましてこの場をかりて、厚くお礼申し上げます。

昨年はこのような非常時にあって、幹事会ならびに次期大会長および次々期大会長とも協議し、本学会創立以来初となりますが、第93回大会の開催を1年見送ることにしました。幸い特別講演やシンポジウムにおいては、演者の先生方より既にご内諾をいただいております。ほぼ同様の内容で次年度に第93回大会が開催できるものと思います。日程等の詳細は、追って大会長である広島大学の藤井万紀子先生よりご案内があるかと思いますが、一般へのワクチン接種開始より数か月後になる見込みですので、引き続きマスクや手指消毒等の予防措置を講じる必要があるかもしれませんが、現状よりも落ち着いた状態で開催できるものと期待しております。

また現執行部の任期は本年3月末までとなっておりますが、幸いなことに次期理事選挙につきましては滞りなく実施することができ、昨年4月に本学会選挙管理委員会より選挙結果が報告された通り、次期理事が選出されております。ただ昨年は大会時に開催される幹事会、並びに総会の開催も見送られました。以後も幹事会等の開催日程について幾度か検討を重ねましたが、度々所属組織からの出張制限等の感染予防措置により、新執行部の体制や懸案であります法人化への移行計画、前年度決算等の審議事項が詰め切れておりません。これらの課題につきましても、年度内には会員の皆様に何らかの形でご案内申し上げる所存ですので、その節は何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

最後に、まだ予断を許さない状況ではありますが、今年一年本学会会員の皆様のご壮健で、研究がますます発展されることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

会長 浅香 勲

## 2. 日本組織培養学会 次期理事選挙結果報告

日本組織培養学会  
会員各位

日本組織培養学会の次期理事の選挙につき、ご投票へのご協力を誠にありがとうございました。

名誉会員 間中研一先生のお立ち合いのもと、2020年3月31日に開票を行い、有効投票総数 111 票を確認し、下記の結果となりましたことをご報告いたします。

理事 18名（立候補者リスト順）

竹澤 俊明

浅香 勲

小原 有弘

片岡 健

嶋本 顕

藤井 万紀子

二川 浩樹

松木 亨

森 一憲

山崎 泰助

筒井 健夫

林 洋平

中村 和昭

須藤 和寛

山本 直樹

菅 修平

黒澤 尋

阪口 政清

（敬称略）

2020年4月7日

日本組織培養学会

選挙管理委員会

委員：林 洋平、西條 薫

### 3. 日本組織培養学会 第93回大会 (2021年)のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大のため、2020年の大会開催を延期させていただきました。この度、改めまして日本組織培養学会第93回大会を広島大学霞キャンパス内 歯学部大講義室（広島市南区霞 1-2-3）において2021年9月2日（木）、9月3日（金）の2日間の日程で日本組織培養学会第93回大会を開催することをお知らせいたします。

この1年間、会員の皆様におかれましては、当たり前だった日常とは異なる生活を送られ、様々な不便を感じられたことと思います。その中で、新たな時代の取り組みとして遠隔授業や遠隔会議などが日常的に行われるようになりました。日本組織培養学会第93回大会は、ウィズコロナ、ポストコロナ時代の開催方法として、オンサイト開催とオンライン開催のハイブリッドで行うことと致しました。当日広島に来ることのできない参加者の方々もいらっしやると思います。現地で交流される先生方と共に是非演題等を登録していただき、活発な討論をしていただければと思います。

第93回大会のテーマは「技術が切り拓く多彩な未来 ～医療現場への道筋～」です。細胞培養技術に関連する様々な分野での第一線でご活躍中のご高名な先生方のお話が聴けると、会員の皆様がとても楽しみにしておられましたので、開催延期決定時は私も非常に残念な思いをしておりました。幸いなことに2020年にご講演をいただく予定だった全てのシンポジストの先生方に、そのまま2021年の大会でお話いただけることになりました。再三の日程変更に快く応じてくださった各先生方には、この場を借りて深く御礼を申し上げます。シンポジウムは『培養細胞が切り拓くがん治療研究』、『iPS細胞を用いたがん免疫療法』、『革新的イノベーションがもたらす新研究領域』、『iPS細胞を用いた再生医療への道筋』という4つのテーマを掲げさせていただきます。

また、特別講演者としてお招きする日本学術振興会学術システム研究センターの黒木登志夫先生からは、新型コロナウイルス感染拡大の科学的分析についてのご講演をいただくことになりました。

近年の目覚ましい科学技術の発展により、多くの疾患の原因が究明され、新規治療法も続々と開発されております。細胞培養技術はがん研究領域では多岐にわたる治療法の開発研究に大きな役割を果たしており、いくつかのがん種で認められる近年の急激な治療成績の向上は、長年にわたる多くの研究者の努力が花開いた結果とも言えます。また、再生医療分野でも細胞培養技術は重要な研究基盤技術の一つであり、今後医療現場で予測される多くの新規治療法への道筋を、土台として支えていくこととなります。新たに開発された技術と細胞培養技術が融合し、これまで不可能だと思われていたことが次々と可能となっていく、そのような未来が今後も予測されます。今大会に参加される皆様には是非、医学の発展を支える細胞培養技術の現在を感じて頂きたいと考えております。

今大会では、前回大会と同様に、次世代の生命科学研究の担い手となる大学院生を対象とした学会入会の有無を問わない Graduate Students Session を企画しています。またオンサイトでは、学会参加者以外の学生や教職員、医師、歯科医師の方々にも自由に企業ブース展

会場やランチョンセミナー会場に入場していただけるよう広報を行い、ご支援くださる企業の方々との交流の場を提供できればと考えております。更に、今大会では休憩時間を利用したオンラインやオンデマンドでの企業展示、広報の枠を新たに設けます。参加者の皆様の安全を考慮したうえで、研究に役立つ多くの議論や情報交換が活発に行われる、意義深い大会になればと考えております。皆さまのご参加をこころよりお待ちしております。

広島大学大学院 医系科学研究科  
ゲノム口腔腫瘍学  
教授 藤井 万紀子

## 大会概要

大会長： 藤井 万紀子（広島大学大学院 医系科学研究科 ゲノム口腔腫瘍学）  
テーマ： 技術が切り拓く多彩な未来 ～医療現場への道筋～  
会期： 2021年9月2日（木）・9月3日（金）  
会場： 広島大学霞キャンパス内 歯学部大講義室（広島市南区霞 1-2-3）

## 日本組織培養学会 第93回大会実行委員会

実行委員長： 藤井 万紀子

実行委員： 浅香 勲（京都大学 iPS細胞研究所（CiRA） 基盤技術研究部門 教授）  
安井 弥（広島大学大学院 医系科学研究科 分子病理学 教授）  
二川 浩樹（広島大学大学院 医系科学研究科 口腔生物学 教授）  
森 一憲（昭和大学 薬学部 基礎薬学講座 腫瘍細胞生物学部門 講師）  
林 洋平（理化学研究所 バイオリソース研究センター iPS細胞高次特性解析開発チーム チームリーダー）  
峯 裕一（広島大学大学院 医系科学研究科 医療システム工学 講師）  
坂本 直也（国立がん研究センター 先端医療開発センター ユニット長）  
深見 陽子（広島大学大学院 医系科学研究科 ゲノム口腔腫瘍学）

協力者： 片岡 健、小原 有弘、西條 薫、嶋本 顕、須藤 和寛、筒井 健夫、  
中村 和昭、松木 亨、三村 純代（五十音順）

## [特別講演]

黒木 登志夫 先生（日本学術振興会 学術システム研究センター 相談役）

### シンポジウム 1 『培養細胞が切り拓くがん治療研究』

田原 栄俊 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 細胞分子生物学 教授)  
山崎 聡 先生 (東京大学 医科学研究所 幹細胞治療研究センター 特任准教授)

### シンポジウム 2 『iPS 細胞を用いたがん免疫療法』

田中 友加 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 消化器・移植外科学 准教授)  
金子 新 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA) 増殖分化機構研究部門 教授)

### シンポジウム 3 『革新的イノベーションがもたらす新研究領域』

弓削 類 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 生体環境適応科学 教授、  
広島大学 宇宙再生医療センター センター長)  
山本 卓 先生 (広島大学大学院 統合生命科学研究科 理学・分子遺伝学 教授、  
広島大学教育研究施設 ゲノム編集イノベーションセンター センター長)

### シンポジウム 4 『iPS 細胞を用いた再生医療への道筋』

堀田 秋津 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 臨床応用研究部門 講師)  
永樂 元次 先生 (京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 生命システム研究部門  
発生システム制御分野 教授)

- 奨励賞対象演題
- English Presentation Award
- 細胞培養基盤教育委員会主催講習会
- Graduate Students Session
- 一般発表・ポスター発表
- ランチョンセミナー
- 総会

### 奨励賞対象演題の募集

奨励賞対象演題に応募される方は、指定の申請書類を 2021 年 4 月 26 日 (月) までに電子メールにて提出してください。

学会ホームページ <https://www.jtca.net/>

第 93 回大会ホームページ <http://jtca.umin.jp/meet/y2021/index.html>

奨励賞対象演題募集について [http://jtca.umin.jp/shourei/shourei\\_index.html](http://jtca.umin.jp/shourei/shourei_index.html)

## 一般演題（口頭発表、ポスター発表）・Graduate Students Session (GSS)・English Presentation Award Competition (EPA) の募集

第 93 回大会ホームページの「演題登録」Web ページより指定様式（Word ファイル）に演題抄録を入力し、電子メールにてご提出ください。詳細は第 93 回大会ホームページならび「演題登録」Web ページをご確認ください。English Presentation Award (EPA) 演題登録ご希望のかたは、「EPA」 Web ページにて規定をご一読ください。

「EPA」 Web ページ : [http://jtca.umin.jp/EPA/EPA\\_index.html](http://jtca.umin.jp/EPA/EPA_index.html)

演題登録期限 : 2021 年 6 月 10 日（木） 締切厳守

### 参加費について

	会員種別	大会参加費	懇親会参加費
事前登録	一般会員※	6,000 円	4,000 円
	学生会員※	3,000 円	3,000 円
	非会員	8,000 円	5,000 円
	学生非会員	4,000 円	4,000 円
当日登録	一般会員※	7,000 円	5,000 円
	学生会員※	4,000 円	5,000 円
	非会員	10,000 円	6,000 円
	学生非会員	5,000 円	5,000 円
	名誉会員	無 料	

※一般会員および学生会員には、日本動物実験代替法学会会員および同学会学生会員が含まれます。懇親会開催は、現時点では未定。

事前登録方法につきましては、追って第 93 回大会ホームページ上にてお知らせ致します。

### 日本組織培養学会 第 93 回大会 大会事務局

〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

広島大学大学院 医系科学研究科

ゲノム口腔腫瘍学

Tel /Fax : 082-257-1503

E-mail : [jtca93th@hiroshima-u.ac.jp](mailto:jtca93th@hiroshima-u.ac.jp)

#### 4. 第93回大会 奨励賞申請(第2期)と発表について

教育・奨励賞担当幹事 中村 和昭・筒井 健夫

第93回大会奨励賞申請についてご案内いたします。新型コロナウイルス感染症拡大に伴いまして、2020年度に予定されていた第93回大会は2021年度に延期となりました。延期の判断がなされる前に、奨励賞の申請受付が行われ、書類選考も終了していたことから、幹事会での審議の結果、書類選考通過者にWeb会議システムを用いた発表を行っていただき、奨励賞の審査を行いました。これにより審査されました奨励賞を第93回大会奨励賞(第1期)といたしまして、奨励賞受賞者を選考いたしました。この度、延期された第93回大会におきましても、第93回奨励賞(第2期)として奨励賞演題の募集を行います。

日本組織培養学会奨励賞は40歳以下の若手研究者を対象としており、将来性ある若手研究者の研究を奨励し、本学会の活性化を図ることを目的としております。若手研究者の皆さまにはその受賞を目指して、第93回大会でも多数の奨励賞演題への応募がなされることを期待しています。

##### 1. 申請資格

- ・申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- ・2021年4月1日現在で40歳以下であること。
- ・今大会にて発表する奨励賞応募演題の筆頭発表者であること。
- ・日本組織培養学会 奨励賞を未受賞であること。

##### 2. 応募方法

申請用紙を本学会ホームページよりダウンロードしてご記入ください。申請書類には、本学会評議員の推薦状が含まれます。推薦者の捺印や直筆サインは不要ですが、必ず推薦者の承諾を得てください。申請書類を電子メール添付にて「6.問い合わせおよび申請書送付先」宛てに送付してください。書面審査の上、奨励賞演題の登録可否を通知いたします。奨励賞演題の登録が認められた場合、大会ホームページから演題抄録の登録を行っていただきます。奨励賞演題の登録可否の通知は5月下旬を目途に行います。

##### 3. 応募〆切

2021年4月26日(月)

※奨励賞演題登録が認められる前に抄録登録は行わないようお願いいたします。

##### 4. 発表形式

今後、ウェブサイトの大会ホームページにて詳細をご案内いたします。

##### 5. 受賞者の皆様へのお願い

受賞者は以下の学会活動へのご協力をお願いします。

- (1) 会員通信へ「受賞の感想」を寄稿する。
- (2) 受賞題名に関連する論文(原著または総説)を本学会機関誌(Tissue Culture

Research Communication) に投稿する。

6. 問い合わせおよび申請書送付先

中村 和昭 (E-mail; nakamura-kz@ncchd.go.jp)

**Young Investigator Award (Second Term), Application and Presentation**

The 93rd annual meeting scheduled for 2020 has been postponed to 2021 due to COVID-19. Before the decision to postpone the 93rd annual meeting, the applications for the Young Investigator Award (YIA) selection were accepted and the document screening was completed. As a result on the deliberation at the Executive Meeting, the candidates made presentation on the web conferencing system, and the winners were judged by the Executive Meeting member. This winner is the first term winner of the 93rd annual meeting. We will start accepting applications for the YIA (Second term) for the 93rd annual meeting in 2021. We hope that a large number of young researchers will apply for the YIA presentations at the 93rd annual meeting with the aim of receiving the award. Please apply according to the application guidelines below.

1. Applicants must meet the following criteria

Be the member of "Japanese Tissue Culture Association".

Be equal to or less than 40-year-old on April 1, 2021.

Be the first author of presentation of title applied for young investigator award.

Did not receive "Young Investigator Award of Japanese Tissue Culture Association" previously.

2. Presentation

The style of presentation will be announced in the "The 93rd Annual Meeting Website".

3. Awardees are requested;

(1) to submit the comments of impression for getting the Young Investigator Award to News Letter of Japanese Tissue Culture Association soon after the Annual Meeting,

(2) to submit the paper (regular articles or review articles) to "Tissue Culture Research Communications" by the consistent title applied to Young Investigator Award after the Annual Meeting.

4. Application

Download the application form from JCTA website. Please fill the form and apply to the below address by e-mail. Please keep in mind that this form includes the testimonial written by councilor of Japanese Tissue Culture Association. After the acceptance and

approval of application, you will be requested to submit the abstract through online registration in the Annual Meeting website.

5. Deadline of application.

April 26, 2021

Please do NOT submit to online registration BEFORE the approval of application by YIA office.

6. Address.

Inquiry and an application form to

Kazuaki Nakamura, Ph.D.

E-mail: Nakamura-kz@ncchd.go.jp

## 5. 第 93 回大会 English Presentation Award (第 2 期) 応募案内

会員の国際的発信能力の増進を奨励し、本学会の活性化を図るため、2014 年の幹事会で設置が承認され、2015 年の第 88 回大会 (広島) から開始されました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、2020 年に予定されていた第 93 回大会は 1 年延期されました。この判断の前に、既に EPA 演題の抄録が登録されていたことから、幹事会での審議の結果、演題登録者に Web 会議システムを用いた発表を行っていただき、EPA の審査を行いました。これにより審査されました EPA を第 93 回大会 EPA (第 1 期) といたしまして、受賞者を選考いたしました。この度、延期された第 93 回大会におきましても、第 93 回 EPA (第 2 期) として EPA 演題の募集を行います。選考規定に従いご応募ください。

### ●日本組織培養学会 English Presentation Award (EPA) 選考規定

第 1 条 名称: 日本組織培養学会 English Presentation Award (略称 EPA) と称する。

第 2 条 目的: 会員の国際的発信能力の増進を奨励し本学会の活性化を図る。

第 3 条 受賞対象: 本学会の会員であり、本学会大会の EPA 対象応募演題 (口頭発表) の筆頭学術発表者であって、要旨記述ならびに口頭発表を英語で行った者。尚、受賞者は再度応募出来ない。

第 4 条 発表期限: 当該年度の本学会大会で発表されたものに限る。

第 5 条 応募方法: 演題申込時に EPA 応募の旨を明記する。尚、応募の期限は演題申込締切日とし、応募演題は一人一題に限る。

第 6 条 選考: 大会長に一任する。

第 7 条 表彰: 本学会の総会時に発表し、賞状ならびに副賞を贈呈する。

第 8 条 改訂: 幹事会で行う。

附則: 本選考規定は平成 28 年度から実施する。

The criterion for English Presentation Award (EPA)

1. Nominal: English Presentation Award abbreviated as EPA of the Japanese Tissue Culture Association (JTCA).
2. Purpose: To encourage the JTCA members to present research achievement in English with the aim of transmitting JTCA activities internationally.
3. Candidate: Must be a member of JTCA and a first author of the oral presentation in the annual meeting of JTCA. Abstract should be written in English and presentation as well. Previous awardees are precluded.
4. Application: Specify the request of nomination at the time of abstract application. One application per each author.
5. Discretion: The relevant meeting president is responsible.
6. Commendation: Awardees are announced at the general meeting of the annual meeting and sent an award certificate and an extra prize.
7. Revision of the criteria: Executive members of JTCA are responsible. Supplement: This criteria is enforced at January, 2016.

## 6. 委員会報告

編集委員会活動報告

編集委員会委員長 浅香 勲 (京都大学 iPS 細胞研究所)

昨年は原著論文 1 報のご投稿をいただきましたが、査読後掲載に至っておらず、現在投稿が途切れている状態です。会員の皆様には何かとご多用かと存じますが、ぜひ積極的なご投稿をお願い申し上げます。

テクニカルアーカイブ委員会活動報告

テクニカルアーカイブ委員会委員長 浅香 勲 (京都大学 iPS 細胞研究所)

テクニカルアーカイブ委員会では、現在名誉会員の間中研一先生のご協力により、一部を除いて会員通信第 1~143 号の全てが本学会ホームページで閲覧可能な状態になっております。会員通信は本学会学術誌の「組織培養研究」よりも歴史が古く、過去の大会の情報や運営体制等本学会の沿革を知るための貴重な資料となっており、法人化移行手続きにおいても大変有益な情報源です。興味がある方はぜひご一読ください。